

適切な治療を受けるために

肝疾患相談支援センターが和歌山県立医科大学附属病院に設置されています。

肝疾患相談支援センターとは

肝臓は沈黙の臓器と言われ、C型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスといった肝炎ウイルスが感染してもほとんど自覚症状はありません。

ウイルス性慢性肝炎は、検査や治療を受けずに放置すると、知らないうちに肝硬変に進行し、肝がんになってしまう恐ろしい病気です。しかし肝臓専門医による適切な抗ウイルス治療を受ければ、肝硬変や肝がんの多くを予防でき、また定期的な検診で肝がんの早期発見も可能になります。

和歌山県は肝炎ウイルスに感染した方が多く、全国に比べて肝がん死亡率の高い県です。国の肝炎対策事業の一環として、和歌山県立医科大学附属病院は和歌山県の肝疾患診療連携拠点病院に指定され、病院内に肝疾患相談支援センターを開設しています。

センターは病気の相談だけでなく、最新医療情報の提供、医療連携支援も行っています。

交通アクセス



最寄り駅からの交通案内

JR 紀三井寺駅西口より徒歩 8 分
JR 和歌山駅よりバスで約 25 分・タクシーで約 15 分
南海和歌山市駅よりバスで約 20 分・タクシーで約 15 分

肝疾患相談支援センター

(和歌山県立医科大学附属病院内)

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1



肝疾患相談支援センター専用予約電話
073 - 441 - 0850

相談日：月曜～金曜 9時～12時 13時～16時
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

和歌山県立医科大学附属病院 肝疾患相談支援センター



肝臓病に関する相談

肝炎ウイルスに感染された方の将来の不安は計り知れません。不当な差別や家族内感染、治療法や治療費など多くの心配事があります。

センターでは、患者さんやそのご家族の方々からの相談を専任看護師が受け、適切な医療が安心して受けられるように支援いたします。

- ◆ 肝炎ウイルス検査はどこで受ければいいのか？
- ◆ 専門医にみてもらいたい
- ◆ 病気が進んでいないか心配
- ◆ 今の治療でいいのでしょうか？
- ◆ 肝がん検診はどこで受ければいいのか？
- ◆ 家族に移さないか心配
- ◆ 治療費はどれくらいかかるの？
- ◆ 副作用が心配

など、様々な相談を受けています。不安や心配事があれば遠慮なくご相談ください。

最新情報の提供

適切な医療を受けるには、病気の正しい理解と最新の治療法を知ることが大切です。

一般の方を対象とした公開講座、医療従事者向けの研修会などを定期的開催しています。

会の開催情報は、県民の友やホームページなどでお知らせします。ぜひご参加ください。

和歌山県肝疾患相談支援センター

検索



医療連携支援

お住まいが遠方であっても、かかりつけ医などお近くの医療機関と肝臓専門医との間に入り、連携しながら治療が受けられるようにします。

医療機関から紹介を受けた方については、引き続き紹介元と連携をとりながら支援します。

相談窓口

和歌山県立医科大学附属病院
肝疾患相談支援センター
(消化器内科外来内)

相談受付

TEL 073-441-0850

受付時間： 9時～12時

13時～16時

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

FAX 073-441-0851

e-mail kansien@wakayama-med.ac.jp

※FAX、e-mail の場合は、予約日程を調整後返信いたします

相談日

月曜～金曜 9時～12時

13時～16時

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

相談方法

面談(予約制、無料)

※FAX、e-mail での相談は受け付けていません

